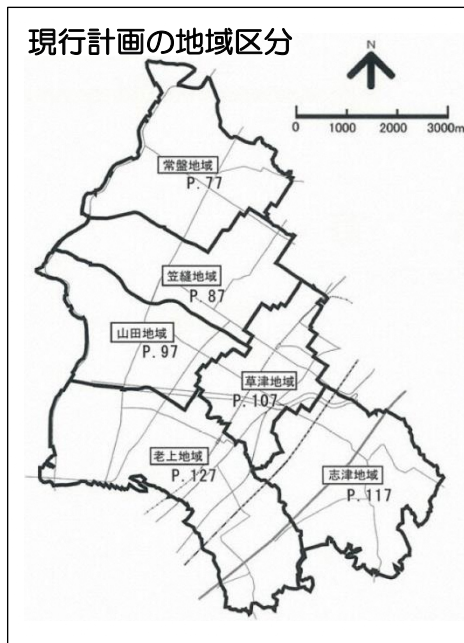


草津市都市計画マスタープラン（地域別構想 素案）【概要版】

地域区分の考え方

14の小学校区を基本単位として、次に示す内容を考慮して、4つの地域に区分

- ◆市街地のまとまり
⇒JR 草津駅・南草津駅の駅勢圏
- ◆地形特性
⇒東部の丘陵地、西部の琵琶湖岸と田園地帯
- ◆地域としての一体性
⇒小学校区
- ◆関連計画との連携
⇒各種関連計画での対象エリア



地域区分	対象の小学校区
西部湖岸地域	常盤学区、笠縫東学区、笠縫学区、山田学区、老上西学区
北部中心核地域	渋川学区、大路口、草津学区
南部中心核地域	矢倉学区、老上学区、志津南学区、玉川学区、南笠東学区
東部丘陵地域	志津学区

【関連計画との連携】

4地域それぞれの将来像の実現に向けた施策を展開するため、地域ごとに対応した関連計画を策定しています。今後は、本計画と関連計画が連携して、都市づくりに繋がっていきます。

学区	都市計画マスタープラン地域区分	中心市街地活性化基本計画の対象	南草津エリアまちづくり推進ビジョンの対象	草津市版地域再生計画の対象
常盤	西部湖岸地域			○
笠縫東				○
笠縫				○
山田				○
老上西				○
渋川	北部中心核地域	○		
大路口		○		
草津		○		
矢倉	南部中心核地域		○	
老上			○	○
志津南			○	
玉川			○	
南笠東			○	
志津	東部丘陵地域			○

地域の都市づくりの目標

西部湖岸地域

自然と文化・歴史を継承しながら、 利便性・快適性の実感できる地域

- ◇本地域は、琵琶湖や田園風景等の美しい自然を有しているとともに、芦浦観音寺をはじめとする地域の歴史資源が数多く点在しています。今後も、これらが持つ多彩な魅力を継承し、新たなにぎわいを創出する地域を目指します。
- ◇日常生活に必要な機能を確保することにより、利便性・快適性の実感できる地域を目指します。

北部中心核地域

文化・歴史の魅力を生かしながら、 住・商の共生で活力があふれる地域

- ◇本地域は、草津宿本陣をはじめとする本市を代表する貴重な歴史資源を有しています。今後も、これらを都市の魅力として生かし、子ども達の郷土愛も醸成しながら、次世代につなぐ地域を目指します。
- ◇市北部の中心市街地として、まちなかの住宅地や大規模商業施設等が立地した商業地の共生による利便性や快適性を高め続けることにより、活力があふれる地域を目指します。

南部中心核地域

自然と共生しながら、 多様な交流による活力があふれる地域

- ◇本地域は、市南部の中心市街地であるJR 南草津駅周辺に立地した大規模商業施設や住宅地、郊外部のゆとりある住宅地等を有しています。今後も、自然と共生しながら、ライフスタイルに応じた住環境を選択できる地域を目指します。
- ◇大学や医療・福祉施設等が立地し、また、高速道路等が通る広域的な交通の要衝でもある特徴を生かし、地域住民、大学、企業等の多様な交流を促進することで、活力があふれる地域を目指します。

東部丘陵地域

住・工・農が調和しながら、 地域のまとまりと安全・安心が実感できる地域

- ◇本地域は、丘陵地の広大な自然を有しているとともに、住宅地、工業地、農業地の多様な土地利用がなされております。今後も、自然資源の保全とともに、それぞれの土地利用から生まれる活力等が継続的に発揮されるよう、土地利用が調和した地域を目指します。
- ◇新たに迎え入れる地域住民とともに、地域のまとまりが実感でき、丘陵地である地形特性を踏まえた安全・安心な生活環境が確保された地域を目指します。